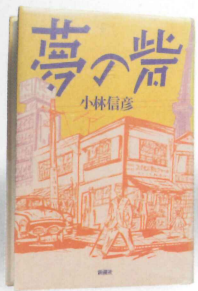
Headline : 5

Text/ Kaori Nakagawa　Photo/ Koshi Asano

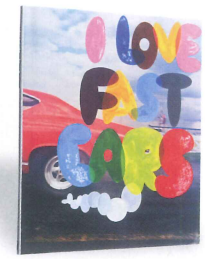
個性的な街の本屋で思いがけない一冊と出合う

本屋に入るとワクワクしてしまう気持ちは、
いくつになっても変わらないもの。
目利き店主がセレクトしたマニアックな一冊を探してみたい。



『夢の砦 /小林信彦』60年代の雑誌・テレビ業界を舞台にした青春小説。¥1,300(シマウマ書房)

『villa d'este style/JEAN GOVOVI SALVADOLE』避暑地の美しさを紹介した写真集。¥4,050(ワン・オン・ワン)



『I Love Fast Cars/Craig McDean』ドラッグレースの1日を撮りおろした写真集。¥2,520(ワン・オン・ワン)

いつどんな時でもインターネットで本が購入でき、携帯電話で本を読むこともできる便利な時代の中、あくまでも店の「棚」にこだわり、客と本を結びつける工夫を凝らす本屋が最近増えてきている。

国内外の写真集や画集、デザイン系書籍などビジュアルメインの古書がびっしりと並べられているワン・オン・ワン。オーナーの茂木克哉さんが約15年のあいだ、趣味で集めた写真集や画集などをスタートに開店した。現在は海外からの取り寄せや、個人売買などを含めて約1万冊の古書を取り扱う。「自分の目にかなったものを扱うようにしています。これからも若手写真家の活躍を応援していきたい」と茂木さんは語る。

静かなジャズが流れる、落ち着いた雰囲気の古書店シマウマ書房。文学、映画、音楽など幅広い古書が並び、なかには仙花紙本と呼ばれる戦後間もない紙不足の時代にくず紙で編まれた本も。

店主の鈴木創さんは「大切に読まれてきた蔵書を買い取ることも古書店の役割。様々な人と本が集まり、出会える場所でありたい」と目を輝かす。店内スペースでは、作家を招いてのトーク会や音楽ライブ、映画の上映会なども行われ、隠れた文化拠点としてもファンを増やしている。

大型書店などでは売れ筋の本は次々に変わってしまう。ベストセラー本を手に入れるのは簡単だが、自分の個性にぴったりとはまるものを探すのは難しい。本当にほしいものを専門の書店でじっくりと吟味し、自分に合った本を見つけてみるのもいいだろう。

名古屋文学サロン月曜会で行われている読書会

ひとりで本を読み、その世界観を味わうのもよいが、様々な意見や感想を交わして新しい世界観を発見できるのが読書会の魅力。最近はカフェでの読書会が増えているので、作品の新たな魅力を再発見してみては?
問合せ先/名古屋文学サロン月曜会
☎052・774・3150

1,2 ワン・オン・ワン

1,もっと専門性を高めて、本当に必要だと思う人に最良な一冊を紹介したいと語る店主。2,店内には写真家などの作品も飾られている。

☎052・242・2363　住名古屋市中区栄3-13-1 南呉服町ビル3F　営月～金/13:00～21:00、土・日・祝/12:00～20:00　休不定休　P なし　交地下鉄東山線・名城線栄駅4番出口より徒歩5分

3,4,5 シマウマ書房

しまうましょぼう

3,本の装丁からも往時を感じることができる。4,デジタルにはない味わいを感じてほしいと店主の鈴木さん。5,時代を超えて読み継がれるべき良書を集めている。

☎052・783・8150　住名古屋市千種区四谷通1-22　ディオネ四谷B1　営11:00～19:00　休木　P あり　交地下鉄東山線・名城線本山駅6番出口より徒歩1分　HP www.shimauma-books.com